

第15回さいたま総研 成功塾 講演会のご案内

「成功しつつある若手企業家が語る」
 債務超過から脱出して成長の足掛かりを掴んだ秘訣
 講師：(株)ダイシン工業 代表取締役 山中 康義



さいたま総研成功塾は、経営者や各分野で活躍している専門家をお招きして、成功体験や知見を公表していただくことを目的としたさいたま総研のセミナーシリーズです。

今回は、33才の新進気鋭実業家：山中康義氏（(株)ダイシン工業、群馬県伊勢崎市）をお招きして、成功しつつある若手起業家の心意気に触れる講演とします。氏は3年前に破綻懸念企業を事業承継した後、積極的な営業と業際的ビジネスセンスで、債務超過解消＆正常化・第二工場建設を成し遂げ、日経新聞や日刊工業新聞にも報道されました。

どうやって短期間再生・経営再建を実現したのか、何がポイントだったのか、成長の足掛かりをつかんだ秘訣と熱意を語ってまいります。企業経営者にとってもコンサルタントにとっても役に立つ若き「成功しつつある（進行形）」事例として、お聞き下さい。



父親が経営していた精密板金加工会社が窮境に陥って、3年前に30才で事業承継。積極的営業で利益V字回復。昨年地元農業への工業技術貢献を目的に「農業資材分野参入経営革新計画」を策定・認定。本年は、資本性ローンを引き出すことで、債務超過解消＆正常化・第二工場建設・成長の足掛かり獲得の1石3鳥を達成して、新聞取材を受ける。

<http://www.daisin-t.co.jp/>

日本経済新聞

3月5日

木曜日

発行所 日本経済新聞社
 東京本社 03(3)3270-0251
 〒100-8086 東京都千代田区大手町1-3-7
 大阪本社 06(6)6943-7111
 名古屋支社 052(2)243-3311
 西部支社 052(4)473-3300
 札幌支社 011(2)81-3211

ダイシン工業が新工場 伊勢崎にハウス用鉄骨など増産

板金加工のダイシン工業（群馬県伊勢崎市）は、新規事業の農業用ハウス（群馬県伊勢崎市）は、ハウスの鉄骨部材も生産する。平方メートルの工場を新設する。市内に新工場を設ける。投資額は約1億5000万円。自動車の性能をアップさせる。4月下旬の稼働を目指す。

伊勢崎にハウス用鉄骨など増産
 5000万円を目指す。同社は紙幣処理機向け部材を主力にする。近年は自動車産業が好調で、自動車の性能向上に向けて、部材も需要が増えている。昨年2月の大雪を受け、農業用ハウスの鉄骨部材の生産も当面は増加が続くとみられており、新工場建設を決めた。